

科目名	財政学入門	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修 ■選択	
			法律学科	□必修 ■選択	
英文表記	Introduction to Public Finance	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	きはら たかし	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	木原 隆司	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	財政の機能・仕組みと我が国財政の現状や予算制度（歳出・歳入）の概要を学びます。				
到達目標	財政の機能・仕組みとともに、特に国（一般会計）の予算・歳出・歳入や財政投融资の「制度」について理解し、なぜそのような制度になっているか、課題は何かを検討できるようになります。				
授業概要	テキストに沿って解説していきます。教員の財務省等の中央官庁での経験等を交えることにより、現実的で分かりやすい講義に努めます。				
授業計画					
第1回	イントロダクション				
第2回	財政の機能と仕組み（テキスト第1章）				
第3回	財政の現状と課題Ⅰ（第2章1：我が国のこれまでの財政運営）				
第4回	財政の現状と課題Ⅱ（第2章2：財政の国際比較）				
第5回	予算編成Ⅰ（第3章1：予算制度）				
第6回	予算編成Ⅱ（第3章2：国の一般会計）				
第7回	国の歳出Ⅰ（第4章1：社会保障予算の仕組みと現状）				
第8回	国の歳出Ⅱ（第4章2：医療保険制度）				
第9回	国の歳出Ⅲ（第4章3・4：介護保険制度・生活保護制度）				
第10回	国の歳出Ⅳ（第4章5・6：公的年金制度、公共事業予算）				
第11回	租税の制度Ⅰ（第5章1・2：租税原則・我が国の税制）				
第12回	租税の制度Ⅱ（第5章3・4：国税・地方税の仕組み）				
第13回	財政投融资Ⅰ（第7章1・2：財政投融资の仕組み・原資・使途）				
第14回	財政投融资Ⅱ（第7章4・5：政策コスト分析・財政投融资計画）				
第15回	講義のまとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 講義のPPTを事前にDownloadして、良く読んだ上で、講義に臨んでください（2時間程度）。 2. 講義後は、「重要語句」とともに、論理を理解するように復習してください（2時間程度）。				
履修条件 受講のルール	テキストに沿って講義を進めるので、テキストを購入してください。				
テキスト	土居丈朗（2021）『入門財政学 第2版』（日本評論社）				
参考文献・資料	森田稔（2022）『図説 日本の財政 令和4年度版』（財経詳報社）				
成績評価の方法	レポート等講義への貢献（40%）・定期試験（60%）を目安として、総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	毎週火曜日・木曜日 10：40～12：10 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。				

成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	担当教員は、財務省・外務省・経済企画庁等の中央官庁の参事官・部長・課長等、税務署長や国税不服審判所長、国際機関職員などの職務を通じて、財政・税制に深く関わってきました。この経験を学生の皆さんに伝えたいと思います。
学生へのメッセージ	経済学の観点からは、財政学 (Theory of Public Finance, Economics of Government) はマクロ経済学やミクロ経済学の「応用経済学」です。「財政学入門」では「制度論」が多いですが、マクロ経済学・ミクロ経済学を復習して、経済学的に制度の裏付けを考えるようにしてください。